

**2023年度
庄内自然エネルギー発電基金協議会助成金
一般公募事業**

報 告 書

庄内自然エネルギー発電基金協議会

目 次

・ 庄内自然エネルギー発電基金について	1
・ 創設の経緯 ・ 基金協議会助成事業	
 2023年度庄内自然エネルギー発電基金助成事業 報告書(抜粋)	2
・ みんなのミシン・アイロン・掃除機から始めるシェアする暮らし検討プロジェクト	2
・ TOCHiTOからはじめる「さかたオープンガーデン」プロジェクト	5
・ 庄内文化を知り、都市部とつなぎ、子どもらに伝承するプロジェクト	8
・ TOCHiTO入居予定者による「参加する暮らし」実現化検討プロジェクト	15
・ TOCHiTOフードアクション	20
・ English Cafe 庄内	25
 2024年度(令和6年度)庄内自然エネルギー発電基金助成事業(採択事業)	28
 2025年度(令和7年度)庄内自然エネルギー発電基金助成事業 募集内容	29

庄内自然エネルギー発電基金について

創設の経緯

令和元年5月30日、酒田市、遊佐町、生活協同組合庄内親生会、生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、株式会社庄内自然エネルギー発電の5者は、持続可能な庄内地域の未来に向かって連帯し、地域社会づくりに貢献することを目的とした。共同宣言および協定締結を行いました。

この内容は、主要な産地として酒田市・遊佐町と提携の歴史の深い生活クラブ生協グループと庄内の提携生産者等の出資により設立された株式会社庄内自然エネルギー発電が運営する「庄内・遊佐太陽光発電所」の売電利益を、庄内地域の持続可能な地域社会づくりに活用いただきたいとの意向に基づき、その理念と仕組みを明文化したものです。

売電利益の寄附を受けた酒田市は、庄内自然エネルギー発電基金を設立し、5者で協議される共同宣言の理念に基づく事業に対し、活用していくこととしています。

基金協議会助成事業

令和3年2月22日、酒田市を含む上記の共同宣言5者は、協定書の趣旨に基づき、酒田市庄内自然エネルギー発電基金を活用した取り組みの一層の活性化に資することを目的に協議機関を設置しました。

基金協議会(共同代表 酒田市長・遊佐町長)は、令和5年度より持続可能なまちづくりのための事業に助成を開始し、広く一般に公募を行っています。



生活クラブでは原発にたよらない、人と自然が共生する社会をめざして、エネルギーを「減らす」(省エネをすすめるエネルギーの使用を減らす)、「つくる」(自然エネルギーをつくる)、「使う」(自然エネルギーを選択して使う)を柱とするエネルギー政策(生活クラブ総合エネルギー政策)を推進しています。

自然エネルギーを「つくる」活動として、山形県遊佐町で約2年の歳月をかけて建設がすすめられてきた「庄内・遊佐太陽光発電所」の稼働が2019年2月に始まりました。

これを記念して、5月30日に現地見学会とFEC自給ネットワーク構想(*)をテーマとした記念フォーラムが開催されました。

(*)生活に欠かせない「食 (Food)」「エネルギー (Energy)」「福祉 (Care)」のしくみを自分たちでつくりだす社会をめざす構想。内橋克人氏(評論家、旧2012国際協同組合年全国実行委員会・委員長)が提唱。

2023年度庄内自然エネルギー発電基金助成事業報告書(抜粋)

みんなのミシン・アイロン・掃除機から始めるシェアする暮らし検討プロジェクト

様式第7号(第8条関係)

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	みんなのミシン・アイロン・掃除機から始めるシェアする暮らし検討プロジェクト
2 事業名	家電・スキル・(昔ながらの)知恵をシェアする暮らし検討事業
3 実施期間	2023 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 2 月 29 日
4 事業の目的及び事業概要(事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要)	目的:モノ(家事家電)とコト(家事に関するスキル・知恵)をシェアすることで、無駄な所有を見直し、スキルや知恵を身につけることで、良質な暮らしをめざす。 事業概要:まず、①ミシン・アイロン・掃除機などの家事家電をシェアする仕組みを作り(保管場所・貸出方法等)、それと同時に、②居住者など各人が持っている家事に関するスキルを教え合い、③さらに昔ながらの家事用具(箒等)などに込められた知恵などにも関心を広げられた。スキル・知恵のシェアは、地域の人々とも一緒に取り組むことで交流が生まれ、知識を深めることができた。
5 実施した成果(主に住民及び地域社会に対する利益について)	スキルのシェアにおいては開催した講座に地域の方も一緒に参加したり、地域の方を講師に招いてその土地の歴史を学んだりできた。 庄内町の伝統文化でもある槇島箒づくりは新聞の記事にも取り上げられた。 参加メンバーが取り組みを SNS で発信できるよう SNS 教室を 3 事業共同で開催した
6 実施結果(おおよその時期、内容、場所及び対象)	打ち合わせ ① 6月30日(金)10:00~11:30 交流棟 今後の進め方、必要と思われる道具の調査などの話し合い ② 7月18日(火)10:00~11:00 交流棟 今あるもの、個持ちでシェアできるもの、購入するものの整理 イベント ①農園教室 9月13日(水) ②はじめてのつつぱり棒活用ミニ講座 10月26日(木)10:00~ ③石けん基礎講座 12月21日(木)10:00~ ④槇島ほうきづくりワークショップ 1月19日(金)9:00~ ⑤ミシン活用講座 2月12日(月)10:00~
7 助成金収入以外の収入	ありません
8 事業の次年度以降の計画	ありません

シェアする暮らし事業

所有からシェアする暮らしをめざして活動

用具のシェア



ミシン

餅つき機



まとめて管理

スキルのシェア①



はじめてのつっぱり棒活用
ミニ講座

石けん基礎講座



ミシン使いこなし講座



スキルのシェア②



横浜ほうき作り



TOCHiTOからはじめる「さかたオープンガーデン」プロジェクト

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	TOCHiTO からはじめる「さかたオープンガーデン」プロジェクト
2 事業名	TOCHiTO 発「さかたオープンガーデン」展開事業
3 実施期間	2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 2 月 29 日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	目的：①酒田市オープンガーデンづくりを目指して、まずは TOCHiTO の庭を整備し、庭造りをベースにした人々の交流が生まれ、TOCHiTO 全体が季節ごとに彩りあふれる雰囲気包まれ、活性化していく。 事業概要：TOCHiTO 居住者が実際にガーデンを土台から造り、それぞれの区分で自分が希望する花や野菜などを整備していく。その過程で、多くの地域の人々に見に来てもらいコミュニケーションを深める。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	・ガーデニングづくりに向けて、スタンディングバスケット 2 機づくりから始めた。アドバイスしていただいていた庄内園芸さんの紹介で、酒田市との連携もできた。 ・TOCHiTO 内の場所設定から始め、土台の土づくりは庄内園芸さんから適宜アドバイスをもらい、また、地元千石町自治会の方を講師にして、庄内での野菜づくりのポイントなどを学んだ。 ・居住者それぞれが自由に作付けしたガーデンだが、散歩途中の地域住民が菜園などを見て話しかけてくださり、そこから交流なども生まれた。 ・適宜 SNS で写真をアップしたところ、散歩のときに見に行くとのコメントなども市民から届き、交流の一旦となった。 ・当初目的の TOCHiTO からオープンガーデンをイメージしていただいて、市内に広げていくことは猛暑もあってかなわなかった。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	打ち合わせ ① 6 月 15 日（木）10:00～11:30 交流棟 庄内園芸さんと今後の進め方について話し合い ② 6 月 29 日（木）9:30～11:30 交流棟 TOCHiTO の菜園をどうしていくかの話し合い ③ 7 月 28 日（金）10:00～12:00 交流棟 菜園をどう進めるかと今後のスケジュールについて話し合い ④ 8 月 11 日（金）10:00～11:30 交流棟 ⑤ 8 月 25 日（金）10:00～11:00 交流棟 ⑥ 9 月 25 日（月）10:00～11:00 交流棟 イベント ・スタンディングバスケット作成 7 月 5 日（水）9:00～ ほか、ガーデンづくりを適宜発信していくために、3 事業共同で開催した「SNS 教室」に参加した。
7 助成金収入以外の収入	芝止めプレート個人買取り分 640 円
8 事業の次年度以降の計画	ありません

さかたオープンガーデン事業

酒田でオープンガーデンをめざして
まずはTOCHiTOで緑づくり

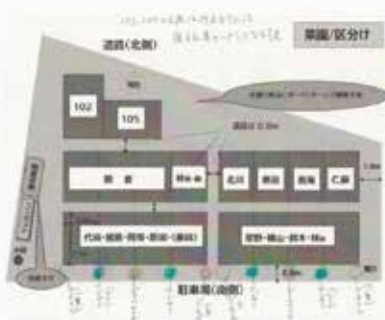
スタンディングバスケット作成



菜園の整備①



菜園の整備②



庄内文化を知り、都市部とつなぎ、子どもらに伝承するプロジェクト

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	庄内文化を知り、都市部とつなぎ、子どもらに伝承するプロジェクト
2 事業名	移住者による庄内文化の都市部への発信と体験・習得・伝承事業
3 実施期間	2023年4月1日 ～ 2024年2月17日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	目的：居住棟入居者自らが関心のある庄内文化の魅力・価値等を体験・習得し、都市部へ広く発信し、多くの人の興味・関心を喚起するとともに、次代を担う子どもらに庄内文化を伝承していく。 事業概要：居住棟入居者が自分の興味・関心ある庄内文化について、①まず知り、②（内容によって）体験・習得し、③それを都市部に発信し、④興味・関心を持つ人の輪を広げ・つながり、⑤地域の人々とともに次代へ伝承していく。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	i) 居住者にいろんな「庄内の魅力」を発見していただいたのが第一義だが、その中で知り合った多くの方々、特に講師を務めてくださった小林和也さん、齋藤健太郎さん、（北欧の冬暮らしに学ぼうの）大滝郁美さんと金子朝彦さん、そして小鈴姐さんとのつながりができたこともとても大きな成果。これからのTOChiTO居住者による、庄内の文化伝承に関するいろんな動きにつながっていく。（すでに、小鈴姐さんとは2015年度のTOChiTO新年会を開催することは決定。） ii) 居住者の体験内容は、毎回体験直後に鮮度感があるうちに、フェイスブックで「庄内の魅力発信」を行うことができ、広く、「庄内の魅力」を伝えることができた。 iii) なにより次代を担う世代に、今回の事業をふまえ、「庄内の魅力」を伝えることができる資料「こんなにあるよ、庄内の魅力！」を作成することができた。同内容はサイト上にアップし、誰もが閲覧あるいはPDF形式でダウンロードできるようにした。→内容は、報告書添付資料1の「こんなにあるよ、庄内の魅力！」をご覧ください。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	※詳細は、報告書添付資料2の「実際内容詳細報告」をご覧ください。 (1) 「山居倉庫の歴史と構造を知るナイトツアー」開催（23年6月11日） (2) 「楽しく学ぼう、庄内の歴史と文化の基本編」講座開催（23年6月26日） (3) 「『おもしろぐ』学ぶ酒田弁！」講座開催（23年7月12日） (4) 「鳥海山の魅力を知る会」と鳥海山の資源探検 (5) 鳥海山の湧き水を遊佐・牛渡川で満喫体験 (6) 庄内食文化の芋煮会を体験（23年10月22日） (7) 初めての庄内の冬を豊かに暮らせるよう「北欧の冬暮らしの知恵に学ぶ」講座開催（23年11月3日） (8) 酒田舞娘から北前船文化を体験（24年1月21日） (9) 280年以上の歴史がある黒森歌舞伎体験（24年2月17日）
7 助成金収入以外の収入	ありません。

1. 実施全体概要と総括

(1) 実施全体概要

①全体概要

今回の実施全体の概要を以下に示す。

2022年	<事業計画書申請内容> 目的: 居住棟入居者自らが関心のある庄内文化の魅力・価値等を体験・習得し、都市部へ広く発信し、多くの人の興味・関心を喚起するとともに、次代を担う子どもらに庄内文化を伝承していく。 事業概要: 居住棟入居者が自分の興味・関心ある庄内文化について、①まず知り、②(内容によって)体験・習得し、③それを都市部に発信し、④興味・関心を持つ人の輪を広げ・つながり、⑤地域の人々とともに次代へ伝承していく。		
2023年			
4～6月	TOCHiTO居住者に体験したい庄内文化について出してもらい、結果、以下を実施		
6月11日	「山居倉庫の歴史と構造を知るナイトツアー」開催	⇒開催内容FBで発信 詳細報告書まとめ	
6月26日	「楽しく学ぼう、庄内の歴史と文化の基本編」講座開催	⇒開催内容FBで発信 詳細報告書まとめ	
7月12日	「『おもしろく』学ぶ酒田弁！」講座開催	⇒開催内容FBで発信 詳細報告書まとめ	
8月21日	事前にガイドの森さんから登山前のレクチャーと鳥海山の魅力についてお話しいただく会を交流棟で7/8に実施。7/17に登山実施予定だったが、悪天候のため断念し8/21に登山実施。	⇒開催内容FBで発信	
8月	下期に、自身が体験したい庄内文化について再度意見集約し、結果、以下を実施		
9月29日	鳥海山の湧き水を遊佐・牛渡川で満喫体験	⇒開催内容FBで発信	
10月22日	庄内食文化の芋煮会を体験 ※「おらがだのままこの会」(居住者のグループ)と共同開催	⇒開催内容FBで発信	
11月3日	初めての庄内の冬を豊かに暮らせるよう「北欧の冬暮らしの知恵に学ぶ」講座開催	⇒開催内容FBで発信	
2024年	詳細報告書まとめ		
1月21日	酒田舞娘から北前船文化を体験 ※「おらがだのままこの会」(居住者のグループ)と共同開催	⇒開催内容FBで発信	
2月17日	280年以上の歴史がある黒森歌舞伎体験	⇒開催内容FBで発信	
3月	上記の居住者の体験内容を、今回お世話になった方々を中心に、子ども向けに再整理した資料「私たちが感じた庄内・酒田の魅力！」の活用(閲覧およびPDFダウンロード等)の告知を行う。		

②実施枠組み

- i) 「庄内文化」（庄内の魅力の一つである自然体験も含む）の中で、TOCHiTO の居住者に、自身が実際に体験したり、学んだりしたいことをまず出してもらった。
- ii) 上記を整理し、世話人を行ってくれる人を都度募って、その世話人を中心に、実際の体験や講座を実施した。
- iii) 実際に展開したイベントや講座は全部で9つ。その全てにおいて実施内容に関し、「庄内文化の魅力発信」という点に軸をおいて、生活クラブ生協「産地で暮らす」の公式フェイスブックで発信した。このように発信していることは、生活クラブの首都圏組合員向けチラシでも案内した。
- iv) イベント・講座終了後は、移住してきた初めて体験した立場から、自身が感じたことや感想、魅力に思ったことを丁寧にひろった。特に講座型に関しては、アンケートも実施して、詳細に感想を聞いた。
- v) 上記の感想等を踏まえ、酒田に住む子ども向けに、「私たちが感じた庄内・酒田の魅力！」としてA4 4枚の資料を作成。サイト上にPDF ファイルをUP し、今回お世話になった方々や知り合った方々に、同サイトのQR コードを告知し、閲覧もしくはPDF ダウンロード等で、子どもたちに「庄内の魅力」を伝えていく。

（２）実施全体総括

①成果点

今回の調査事業を通じての成果として以下の点が挙げられる。

- i) 居住者がいろんな「庄内の魅力」を発見していただいたのが第一義だが、その中で知り合った多くの方々、特に講師を務めてくださった小林和也さん、齋藤健太郎さん、「（北欧の冬暮らしに学ぼう」の）大滝郁美さんと金子朝彦さん、そして小鈴姐さんと TOCHiTO 居住者とのつながりができたことも、とても大きな成果である。これからの TOCHiTO 居住者による、庄内の文化伝承に関するいろんな動きにつながっていく。（すでに、小鈴姐さんとは2015年度のTOCHiTO新年会を開催することは決定。）
- ii) 居住者の体験内容は、毎回体験直後に鮮度感があるうちに、フェイスブックで「庄内の魅力発信」を行うことができ、広く、「庄内の魅力」を伝えることができた。
- iii) なにより次代を担う世代に、今回の事業をふまえ、「庄内の魅力」を伝えることができる資料「私たちが感じた庄内・酒田の魅力！」を作成しすることができた。同内容はサイト上にアップし、誰もが閲覧あるいはPDF形式でダウンロードできるようにした。

私たちが感じた庄内・酒田の魅力！

もしえのん



あののん、
トチトの人
からはがき
が来たの
ん。おしゃ
べりしよう
とのお誘い
だのん。

もしえのん あののん ヘ

はじめまして。わたしたちは、去年の春に、酒田のトチトという所（山居^{さんきよ}倉庫^{そうこ}の向いにあります）に、全国いろんな所から移住^{いじゅう}してきました。みんな酒田に住むのは初めてでどんな所なのかなとドキドキでしたが、酒田のみなさん、ホントにやさしくてあったかで、食物もおいしく、とってもいいところだね。きっと もしえのん あののん がいるからかもね。

この1年、庄内の文化^{ぶんか}と歴史^{れきし}の話を聞いたり、芋煮会^{いもにかい}をやったり、黒森^{くろもり}歌舞伎^{かぶき}をみたり、登山^{けいげん}やカヌーも経験^{けいけん}したり、といっぱいいろんなことをしましたが、どれもこれもがすばらしく、酒田や庄内を知れば知るほど、魅力^{みりょく}あふれるこの町が大好きになりました。どんなところが良かったと思ったか、話したくてうずうずしています。もしえのん あののん 酒田・庄内のよいところ、いっぱいおしゃべりしませんか。

もしえの
ん、やった
のん。

おしゃべり
したいの
ん！



あののん



トチトのみな
さん、あそび
にきたのん。



もしえのん あののん いらっしゃい！！

私たちが感じた酒田や庄内のよいところ、
いっぴいつたえるね。もしえのん あのの
ん が知っていることも教えてね。

【大人の方へ】

・本誌は「庄内自然エネルギー発電基金協議会」の助成金を受けて実施した「庄内の文化伝承事業」の内容について、FB等で発信した内容を、子ども(概ね小学4年以上)向けに再編集したものです。これからの酒田を担う子どもたちに、ぜひ自分たちの住んでいる所の魅力を知ってもらいたい、との想いでつくりました。最後の頁に、パソコンなどでの閲覧やPDFファイルでダウンロードできるQRコードを掲載しています。ご家庭はじめ、いろんな場でご活用いただければ嬉しいです。

・トチト(TOCHiTO)とは多世代移住者向けの賃貸型コミュニティハウス「TOCO」(居住棟)と、入居者同士や地域住民が交流できる「COTO」(交流棟)からなる、新しいプロジェクト・場所が「TOCHiTO」です。酒田市と生活クラブ連合会の協働検討のもと、東北公益文科大学の先生の知見などをいただきながら計画づくりを行ってきました。酒田市の市有地を利用し、公募選定された市内の民間事業者が出資する公民連携の仕組みで、山居倉庫向かいの消防署跡地に施設を整備、2023年6月にオープンしました。(※TOCHiTOのHPより。詳しくは同HPをご覧ください(←「TOCHiTO 酒田」で検索)。

◆23年6月11日 夜の山居倉庫、探検したよ！ 昼とはガラリと感じがちがうね



😊 もしえのん、ここどこかわかるよね。

もちろんだのん。山居倉庫だのん。でも夜に行ったのん？



😊 そう、ライトアップがきれいだったよ。

😊 ライトは、米に虫がよってくるといけないので、虫がないライトを日本中探したら、ディズニーランドが使っていて、同じものをつけたんだって。シンデレラ城と山居倉庫、ライトつながりだね。

😊 ガイドの小林さんの説明で、お米を入れる倉庫として、だいいな役割（やくわり）を果たしたことがよくわかった。庄内は昔からお米をととても大切にあってきたんだね。だからおいしいんだ。

◆23年6月26日 庄内の文化と歴史を教えてくださいました！ 庄内のもちはずいぶん丸い？



つぎはお勉強だのん。あ、教えているのは小林和也（こばやしかずや）先生だのん。プラタモリの時もタモリさんに酒田のこいろいろ教えたんだのん。

😊 小林先生のお話しは、とっても面白くてかつためになる。庄内平野って大きく平らだよ。飛行機の窓から初めて庄内平野を見た時、ホントに広いなあ、って思った。これは1億年まえの大地の移動が関係しているんだって。この庄内平野が江戸時代に入ると、日本一の米どころになっていく。江戸が大飢饉になった時は、庄内から米をはこんで江戸の危機も救ったと聞いて、私のご先祖もそれで生き延びたかもしれない。ありがとね。日本一といえば、本間家は日本一の地主（じぬし）だったとか。歴史を知り、ますます酒田が大好きになったよ！

😊 その米などを全国に運んだのが北前船（きたまえぶね）なんだね。で、京からの文化も伝わった。だから庄内のおもちは丸いのか。名古屋から日本の北の方はほとんど四角いもちだからね。舞娘（まいこ）さんもいるし、料亭（りょうてい）など風情ある建物も多い。酒田山王祭（さんのうまつり）もあるし。北前船で栄えた湊（みなと）酒田を今も感じられる。みんなには当たり前のことかもしれないけれど、私たちがみると、こうした文化や祭り、家並みなどいいなあと思う。もしえのん あなのん、いい所だね、酒田。



◆23年7月12日 『おもしろぐ』学ぶ、酒田弁！ 酒田の方言かるたもやったよ！



かるたとりだのん。楽しそうだのん。酒田の言葉は最後に「の」がつくけど、これも京文化の影響だのん。



😊 楽しかったよ。酒田方言かるたを作った齋藤（さいとう）さんから、方言とは何かをまず教わり、そのあと酒田弁についての説明があった。酒田でも地域（ちいき）によって言葉がちがうことも知り、びっくり。

😊 で、そのあと「かるた」とり。♪いだましのこいだば とておごうだらね♪ との齋藤さんのよみに、「あった〜！」。この「かるた」を、酒田の皆さんでつくったと聞き、自分たちの言葉を大事にしているんだね。地元が好きな人たちがいっぱい住んでいる町なんだ。「方言は歴史と文化の宝（たから）箱」ということがよくわかった。

◆23年8月21日 鳥海山に登ってきました～～！ とってもよかった～～！



みんないい顔しているのん。花は「チョウカイフスマ」だのん。鳥海山と月山だけでさく花なんだのん。

😊 ホント、楽しかったよ。ガイドの森さん、つかれた時には花の説明をしてくれて。鳥海湖（ちょうかいこ）はキラキラ輝（かがや）いていたよ。ときどき吹く風が気持ちよく、また、鳥海山から見る日本海や庄内平野も最高だった！

😊 私にとってはなかなか大変なコースだった。でも、山の小屋（こや）へつくと、鳥海山のとっぺんが見られて、鳥海湖からの風もさわやかで、いっきに疲（つか）れもふきとんだ。もしえのん、あののん、こんど一緒（いっしょ）に行こうね！



◆23年9月29日 鳥海山の湧き水を楽しみました！ ゆざ うしわたりがわ 遊佐・牛渡川のカヌー体験！



わあ、カヌーだ～のん！ 牛渡川は鳥海山のふもとにある川で、水のほとんどが鳥海山の湧き水なんだのん。だからとってもきれいなんだのん。



😊 「海浜自然の家」に着き、まずはボランティアガイドの藤井さんからカヌーのこぎ方など教わりいざ川へ。良かったよ～。ゆったりと鳥海山にむかってこいでいく。草むらにつこんだ仲間を笑い、ぶつからないようにとコースをなおし。水はとても透（す）き通り、魚も見え、うれしかった～！

😊 秋には鮭（さけ）がのぼってくる牛渡川の、水の冷たさと川底まで見える透明度（とうめいど）を感じながらのんびりカヌーで川のぼり。最高だったよ 🍡

😊 自然を楽しめるカヌーにすっかり心をうばわれ、来年の夏はボランティアや指導員（しどういん）としての活動にぜひ挑戦（ちょうせん）してみたい気分になった。あののん、もしえのん、いっしょにやらない？

◆23年10月22日 いもにかい 芋煮会やったよ～～！ とってもおいしかったよ～～！



芋煮だのん！ もちろん、庄内の豚肉（ぶたにく）・みそ味だのん！ うめけがのん！

😊 豚肉・みそ味の芋煮、とっても「うめがった」よ～。テレビで山形の大なべの芋煮会は見てたけど、あれは牛肉・しょうゆ味なんだね。同じ山形の芋煮なのに、2つの味つけがあり、でそれぞれが自分の地域の味がほんとの芋煮だと思ってって、面白い。私たちには、「おらがだの ままこの会」というのがあり、今回のように、酒田の伝統料理をときどきみんなで作って食べているんだよ。こんど、もしえのん とあののん も食べにこない？

「「おらがだの ままこの会」のごはん、今度食べにいく～～ のん!!



◆24年1月21日 ^{かんだらしる}寒鰯汁とつきたてもちと酒田甚句^{しんく}で、新年会！



寒鰯汁も もち もおいしそうだのん。
おどっているのは…、あ、酒田甚句の男
おどりだのん。酒田舞娘の鈴華（すずは
な）さんがいるのん。奥には小鈴姐（こす
ずねえ）さんも見えるのん。



😊さすが、もしえのん、すぐに酒田甚句の男おどりとわかるとは。これは「おらがだの ままこの会」の新年会。もちをついてだして、その後、寒鰯汁も。これ、がんばったんだよ。何しろ私たちはつくったことがないもの。でも、酒田の冬といえば寒鰯汁！ で、地元の人からの助けもあり、できた！おいしかった！で、その後、小鈴姐さんご指導（しどう）による「酒田甚句」おどり。女おどりはむずかしいので、男おどりをならったんだ（笑）。

😊いや～、酒田の受けつがれてきた文化、すごい！なによりたのしい（酒田甚句おどり）し、おいしい（寒鰯汁）。もしえのん あののん、いままで酒田の文化をつないできてくれてありがとね。

◆24年2月17日 ^{くろもり か ぶ き}280年以上も続く黒森歌舞伎 すごいよ！



今年の黒森歌舞伎も、とっても良かったのん。この良さを知らない人には、あののんが「知らざあ、言って、きかせよう！」だのん。

😊子ども歌舞伎、動きもしっかり、声もよくとおり、よくそこまで、と思った。いっぱい稽古（けいこ）したんだね。

😊大人の歌舞伎も最高！ 地域の皆さんが、毎日のしごとが終わったあとで稽古を積みかさねて、ここまでの舞台をつくりあげている。ほんとうに、すばらしいね。

😊280年以上も、皆さんが だいに 神事（しんじ）を続けてきたことに、ただただ、感動！

😊酒田の山王祭りやいろんなネタでわらいをとり、しかも話もしっかりわかる。見にきた人をとことん楽しませようという気持ちが、しっかりつたわってきた。あののん だけでなく、もしえのん もあちこちで、黒森歌舞伎の魅力（みりょく）、「知らざあ、言って、きかせよう！」（知らないのなら教えましょう！）で、よろしくね。



みなさん、ありがと
のん！とっても楽しかった
のん！またくるのん！

😊こっちこそ、いっぱいお話しできて楽しかったよ。また来てね。まってるよ！

本誌は「庄内自然エネルギー発電基金協議会助成金事業(庄内の文化伝承事業)」の一環として下記団体が作成しました。なお、右記 QR コードから本誌の PDF の閲覧・ダウンロードが可能です。（閲覧・ダウンロードは 2024 年 12 月 31 日までです）

○「庄内文化を知り、都市部とつなぎ、子どもらに伝承するプロジェクト」
担当事務局：佐藤博（Eメール：sato-hir@hokuriku.me）

○発行日：2024 年 2 月 29 日



TOCHiTO入居予定者による「参加する暮らし」実現化検討プロジェクト

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	TOCHiTO 入居予定者による「参加する暮らし」実現化検討プロジェクト
2 事業名	参加する暮らし」実現化に向けての庄内の地域ニーズ・資源調査事業
3 実施期間	2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 2 月 16 日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	目的：「参加する暮らし」の具体的あり方を明確にし、その実現を目指す。 事業概要：人や地域が元気になっていく活動内容を明確にするために、地域ニーズおよび既存の活動団体や地域資源についての調査事業を実施する。同事業は一方的な調査ではなく、意図的に意見交換・交流の場を設け、関係者間での人間関係の構築も同時に図っていく。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	・調査事業を踏まえ、来年度に新たな2つの事業（フードアクション事業の商品化へ向けた動き・ファイバーリサイクルでの具体的活動）が展開されることになったこと。 ・調査事業に協力いただいた方々と今後「参加する暮らし」に関する様座な活動と一緒にやっていける関係性を構築できたこと。 ・今回の調査事業の目的である「『参加する暮らし』の具体的あり方を明確にする」ことができたこと。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	※詳細は、「報告書添付資料」の「実際内容詳細報告」をご覧ください。 23 年 7 月：居住者全体に声をかけ、調査全体の方向性・調査概要を定めるワークショップを開催 23 年 8 月：ワークショップで出された 57 の意見を、5 つの大項目に分類し、調査テーマを「酒田の魅力づくりのための調査」とした。 23 年 9 月：「酒田の魅力、こんな点について教えてもらえますか」とし居住者と千石町との茶話会実施。 23 年 11 月：市役所職員へグループインタビュー実施。また、「環境」分野で、酒田市役所担当部局へヒアリング実施。 23 年 12 月：千石町自治会、公益大生へグループインタビュー実施。
7 助成金収入以外の収入	ありません。
8 事業の次年度以降の計画	・上記記載のとおり、来年度に新たな2つの事業（フードアクション事業の商品化へ向けた動き・ファイバーリサイクルでの具体的活動）を展開予定。

1. 実施全体概要と総括

(1) 実施全体概要

①全体概要

今回の実施全体の概要を以下に示す。

	参加する暮らし」実現化に向けての庄内の地域ニーズ・資源調査事業（包括調査事業）					
2022年	＜事業計画書申請内容＞ 目的:「参加する暮らし」(＝地域の人も移住者も、やりたいこと・できることを持ち寄り地域の未来をともに創っていく暮らし方)の具体的あり方を明確にする。 事業概要:人や地域が元気になっていく活動内容を明確にするために、地域ニーズおよび既存の活動団体や地域資源についての調査事業を実施する。同事業は一方的な調査ではなく、意図的に意見交換・交流の場を設け、関係者間での人間関係の構築も同時に図っていく。					
2023年						
7月	居住者全体に声をかけ、調査全体の方向性・調査概要を定めるワークショップを開催					
8月	・ワークショップで出された57の意見を、5つの大項目に分類。 ・調査テーマを「酒田の魅力づくりのための調査」とし、あらたな活動を生み出すための基礎調査とした。					
	大項目	I. 街活性化	II.食関連	III.暮らし	IV.観光	V.環境
	内容の焦点化	どんな「温泉」があったら嬉しいですか？	余りやすい食材の加工・保存は？→商品化	酒田のおすすめの伝統家庭料理は？ +ラーメン店	市内3時間観光コースをつくらせたら？	ファイバーリサイクル、どうしたら実現できる？
9月	「酒田の魅力、こんな点について教えてもらえますか」とし居住者と千石町との茶話会実施					
11月	市役所職員へグループインタビュー(フードアクション試食込み)					市の担当部局へ現状調査(ヒアリング)
12月	千石町へグループインタビュー(フードアクション試食込み)					
	公益大生へグループインタビュー(フードアクション試食込み)					
2024年						
1月	グループインタビューまとめ					調査まとめ
3月	【成果】	結果を報告書としてまとめ、関係者にリターン				
次年度	【大成果1】	フードアクション事業として余剰食材の商品化。				【最大成果】
		【大成果2】フリーマーケットやリサイクル仕組み立ち上げ。				
	今後、上記事業を千石町等、調査で今回知り合った人々と一緒に行っていける関係性を構築した！					

②実施体制

今回の調査事業を担ったメンバーは以下である。

＜TOCHiTO 居住者＞

・奥田美奈子さん、鈴木陽子さん、横山明美さん

＜東北公益文科大学 学生＞（1年生）

・伊藤綾花さん、高木七美さん、田村悠輝さん

＜全体アドバイザー＞

・鎌田准教授（東北公益文科大学）

＜事務局＞

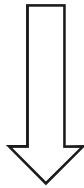
・佐藤博（生活クラブ共済連パートナー）

③調査事業経緯

□23 年 5 月 26 日 ワーキング実施

鎌田先生、居住者、公益大生で今後の進め方を検討

→7 月 21 日 10：00～12：00 に、居住者全体に声をかけ、調査全体の方向性・調査概要を定めるワークショップを実施することを決定（企画・運営 公益大生、サポート鎌田先生）



※実施にむけ、メンバー間で2度のワーキングを実施
→『参加する暮らし』を実現するためには、まずは
庄内・酒田のことを知る必要がある」ということを確認

■23 年 7 月 21 日（公益大生主催ワークショップ開催～16 名参加）

・TOCHiTO 居住者を対象。

・2 チームに分かれ、庄内・酒田について知りたいことをブレスト形式で出し合い、各意見をグルーピングした。

→開催内容をフェイスブックで発信（巻末参考資料 1-1）

□23 年 7 月 28 日～9 月 15 日で、5 回のワーキングを実施

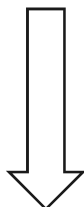
・上記 2 グループで出た項目を、内容で整理し一覧表化し（この時点で 57 項目）

・以下の調査テーマを決定

☆調査テーマ「酒田の魅力づくりのための調査」と 5 つの大項目を決定

→「調査を通じ、新しい取り組み、楽しい取り組みを生み出していく。そのための基礎調査とする」ことも併せて確認。

・上記テーマに従い、まずは千石町自治会と TOCHiTO 居住者との「茶話会」開催決定。



※「調査」ということは全面に出さず、まずは、千石町自治会の皆さんと TOCHiTO 居住者の孫穆を図ることを第一義として開催することを、ワーキングで確認。

■23 年 9 月 22 日 千石町との茶話会実施 (25 名参加)

- ・「酒田の魅力、こんな点について教えてもらえますか from TOCHiTO 入 居者 ～ Supported by 公益大学 3 人衆」と題して千石町自治会の皆さんと茶話会を実施。
→開催内容をフェイスブックで発信 (巻末参考資料 1-2)

□23 年 10 月 3 日～11 月 8 日で、3 回のワーキングを実施

- ・千石町との「茶話会」をふまえ、今後の調査の大項目を決め、それぞれの内容の焦点化を図った。
- ・大項目の「Ⅰ. 街活性化」～「Ⅳ. 観光」についてはグループインタビューを実施、「Ⅴ. 環境」については、酒田市のリサイクル担当部局にヒアリングを行うことを決め、それぞれの担当、スケジュールも決定した。

■23 年 11 月 13 日 酒田市役所インタビュー (対象 8 名)

- ・4 名×2 グループで実施
→「酒田に温泉施設があったなら」「観光について」「食関連」「酒田ごはん」「酒田ラーメン」についてヒアリング。

◆23 年 11 月 28 日

- ・酒田市のリサイクル担当部局に酒田市のファイバーリサイクルの現状等についてヒアリング。

■23 年 12 月 16 日 千石町インタビュー (対象 11 名)

- ・4 名、4 名、3 名の 3 グループで実施
・「酒田に温泉施設があったなら」「観光について」「食関連」「酒田ごはん」についてヒアリング。
→開催内容をフェイスブックで発信 (巻末参考資料 1-3)

■23 年 12 月 20 日 公益大生インタビュー (対象 13 名)

- ・6 名、7 名、の 2 グループで実施
・「酒田に温泉施設があったなら」「食関連」「酒田ごはん」「酒田ラーメン」についてヒアリング。

(2) 実施全体総括

①成果点

今回の調査事業を通じての成果として以下の点が挙げられる。

i) 次年度での具体的な活動につなげることができたこと

今回の調査事業を踏まえ、来年度に新たな 2 つの事業 (フードアクション事業の商品化へ向けた動き・ファイバーリサイクルでの具体的活動) が展開されることになった。

→まさに、今回の調査事業の獲得目標である「調査を通じ、新しい取り組み、楽しい取

り組みを生み出していく。そのための基礎調査とする」ことができた。

ii) 上記新たな活動も含め、今回調査事業に協力いただいた方々といろんな活動を一緒に行っている関係性を構築できたこと。

→今回の調査事業の申請書において示した「同事業は一方的な調査ではなく、意図的に意見交換・交流の場を設け、関係者間での人間関係の構築も同時に図っていく」ことが実現できた。

iii) 今回の調査事業の目的である『参加する暮らし』の具体的あり方を明確にする」ことができたこと。

→これは、3章の「調査事業全体のまとめ」にて、鎌田先生からお示しいただいたもの。

＜一部抜粋＞ ～全文はP17～18にて掲載

今回の包括調査事業は、「参加する暮らし」の進めかたそのものであり、「参加する暮らし」の一つの実践モデルとして位置づけることができると確信しています。

包括調査事業から私自身が学んだ、参加する暮らし実現の5つのステップを整理します。

1. 「参加する暮らし」がしたいメンバーが集うこと。
2. メンバーの思いを言葉、形にしていくコーディネーターが伴走すること。
3. 新しいこと・楽しいこと、そして大事なことを探求すること。
4. こうして「参加するコミュニティ」をつくり、
5. 「参加する暮らし」を社会に広げていくこと。

②上記成果を生み出せた要因

今回の事業を振り返ってみて、上記成果を生み出すことができた要因は以下と考える。

i) 調査テーマを「酒田の魅力づくりのための調査」と設定できたこと

全体アドバイザーの鎌田先生からのご指導で、調査テーマを「酒田の魅力づくり」にすることができたことが、非常に大きかったと考える。千石町自治会との茶話会やグループインタビューを行う際に、「酒田の魅力づくり」のために、「知っていること」「日頃考えていること」を教えていただくという太い軸が一本通り、その場にいる人全員が、同じ立場で、同じ方向を目指して考えることができた。結果、各場における話合いが、明るく、前向きなものになり、楽しい場に一緒にしていくことで、参加者同士の関係性も構築できた。

ii) 各メンバーが、それぞれの立場で、前向きに、力を尽くしてくれたこと

今回は、TOCHiTO 居住者と公益大1年生という混成チームだったが、ワーキングや茶話会、ワークショップなどの場で、常に前向きに意見をだし、自分のできることを率先してやっていただいた。経験・価値観等がそれぞれ違う中で、そこを活かす形で、相補的・相乗効果的な関係が築かれ、好循環が生まれたと思う。

特に公益大の皆さんは、社会人と一緒に調査活動という初めての経験だったが、日々を重ねるごとに、積極的になり、頼もしくなっていたのには目を見張った。

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	TOCHiTO フードアクション
2 事業名	山形県産フルーツとハーブによる TOCHiTO ブランドフード試作
3 実施期間	2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 2 月 29 日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	目的：TOCHiTO を活動拠点とするフードロスに配慮した食材加工の実践 事業概要：TOCHiTO での生活の中で、無料もしくは安価で入手できる食材を活用した加工品の試作を行う。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	・数回にわたる試作→試食の過程で、TOCHiTO 居住者、TOCHiTO 交流棟事業者、千石町を始めとする酒田市先住者、公益大生、食材提供農家さん等との交流を図ることができた。 ・先住者（特に千石町自治会）の食材保存の知恵を TOCHiTO 流にアレンジすることにより、ドライフードの製作が事業として検討しやすいという感触を得ることができた。 ・各種柿ジャムアレンジ、ドライパプリカ、柿酢等、酒田の食材の新しい活用方法について地域にアピールすることができた。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	※詳細は別紙「活動概要」参照 23 年 7 月：居住棟有志による赤パプリカジャム作りとヨーグルトアレンジ 23 年 10 月：柿、パプリカの試作→English cafe、芋煮会メンバーによる試食 23 年 11 月：柿、パプリカの試作→TOCHiTO 交流会、市役所メンバーによる試食 柿酢の漬け込み 23 年 12 月：パプリカ、赤かぶの試作→千石町自治会、公益大メンバーによる試食 24 年 1 月：フードアクションのロゴ、パッケージ等の検討 24 年 2 月：柿酢の試飲会（TOCHiTO 居住者、酒田市の一般の方） 大根、椎茸、キクラゲの試作→東京での試食 ※今年度はハーブを使用したアレンジは行わず、代わりにパプリカ等の野菜を用いた
7 助成金収入以外の収入	なし ※当初は TOCHiTO キッチンで試作品の販売を行う計画だったが、当該キッチンには食品製造関連のライセンスがなく、販売を想定していたタイマッサージ事業、TOCHiTO 食堂事業も 2023 年度には立ち上がらなかったため（2023 年 8 月 23 日に報告済）。
8 事業の次年度以降の計画	今年度の試作→試食の結果、ドライ品が好評かつ、賞味期限的にも猶予があるため、首都圏（東京、神奈川）での販路が開拓されたら、ドライパプリカ等の販売の検討を行う。

【FA事業試作及び試食概要】

＜2023年＞

- 7月23日：クッキー（ハーブクッキーのベースになるもの）の試作
24日の交流会にてTOCHiTO居住棟メンバーに
試食してもらった（20人程度）
- 7月23日：パプリカ（赤）ジャムのアレンジ
（アレンジ1）チョコグラノーラ+ヨーグルト+ジャム
（アレンジ2）ジャム+レモンサワー+レモン輪切り×1



- 10月14日柿ジャムを使ったチーズケーキの試作

※庄内柿は種がないので調理作業しやすい

※渋戻り対策→チーズが入っていれば渋さはでないはず（結果問題なし）

試食：English cafe参加者を中心に試食してもらった（15人程度）。

普通に美味しいとのコメント、ジャムのトッピング量もう少し多い方がよさそう。

トッピングの柿の皮（電子レンジで乾燥させたもの）はない方がよい旨



- 10月15日柿ジャムアレンジ

※渋戻りの確認と組み合わせ食材の探索が目的

14日の柿ジャムを使用。再加熱時ブロック柿の方に渋みを感じるものがあった

クローブ→香り○

ペッパー→粒粒食感OK、ピリッとしていてチーズ等に合うかも。

ナツメグ→スパイシーさOK

クミンシード→口に残るスパイシーさ、香りなし、粉末でもよいかも

紅茶酒→甘さ、香りOK紅茶（アールグレイ）の苦みもなし

プロテイン（コーヒーフレーバー）→若干苦みあり？

バター→濃厚感、コクあり→甘味が増している感覚あり

胡麻バター→風味よし→甘味が増している感覚あり

→FAメンバーと試食の結果、ペッパーの相性がよさそう。プロテインの味はあまりしないのでタンパク質を取る目的を謳うために入れるとよいかも。



●10月21日柿ジャム、パプリカ（黄）ジャム、ドライシリーズ作成

①ドライ柿、ドライラフランス

②ドライパプリカ

- 10月22日芋煮会の際に21日の柿ジャム及びドライシリーズの試食（合計30人程度）（主な試食コメント）
 プロテインはわからないので栄養素としてうたえるのでは？

ドライフルーツはラフランス>柿 高級路線と一般路線と分けるか？

ドライパプリカは好評。黄色と赤を適宜混ぜると色味も綺麗。赤の苦みもバランスされる
 もう少し大きめにカットしてもよいかも

高齢者向けの自然なおやつとして売り出しては？

パプリカ ジャム（黄色）は苦みもなく美味しい。レモンよりゆずが好評



●11月11日柿酢の漬け込み

渋抜きしていない庄内柿を使用。柿のみ、
 柿＋各種酢（黒酢、穀物酢）、
 柿＋各種糖（黒糖、きび糖、グラニュー糖）
 の組み合わせ。

漬け込み期間を約3カ月に設定し、2月3日
 に試飲会を行う



●11月11日TOCHiTO交流会での試食

柿サラダ（柿中1個、大根中10センチ程度、
 ホタテ缶詰、酒田の塩漬物の素、燻製マ
 ヨネーズ、ブラックペッパー）お総菜第1号。
 果物のお総菜は斬新。味についても好評



●11月13日市役所メンバーによる試食（調査事業の枠で実施：対象8人）

柿ジャムサンド

甘さ：きび糖のみorきび糖+ミルクティー味のプロテイン

アレンジ：クリームチーズ+ペッパーorバタートースト

コメント

- クリチンバター、クリチ+ペッパーのアクセントがよいかも
- 自宅では生ハム+柿、白和え等でつまみ系アレンジ
- 普段手の込んだアレンジはしないので斬新
- ミルクティー味（プロテイン）と素（きび糖の甘さ+バター）味についてはどちらが好みかは好き好き
- 美味しいけど、言われないと「柿」だとわからない。特にバター風味だとサツマイモ的な味になる。



（柿のアレンジについてのまとめ）

洪の話もあるものの、柿はタンパク質（クリチ、バター、牛乳、生ハム）との相性が良いことを実感。プロテインは健康志向的にどれだけアピールできるかと何味を入れるかの検討が必要（ミルクティー味は合うけどフレーバーが強い）。

「柿」であることをどんなレシピで感じてもらえるのか？が課題

●12月15日TOCHiTO交流会でのドライ品（赤、黄パプリカ、赤かぶ）の試食

（ドライ化については酒田市内のラーメン店の低温乾燥機を使用）

（コメント）

- 両方とも味が濃くなっていて香りも強く
パプリカは甘味が感じられておいしい。 蕪は噛んでいくうちにいろんな味（特に最後の辛み）が面白い
- ラーメンに入れると食べやすいしおいしい
- 蕪はそのままだと高齢者には固い→もっとパリパリにしたらどう？
- 食べ方の解説があるとよい
- 蕪はシイタケにみえたがよく見ると色がキレイでよい

※セミドライ品はラーメンのトッピング、鍋に入れて食べる等

なんか水分を加える食べ方を標準レシピにしてアピールするような商品化ががよいと思われる。



- 12月16日千石町でのドライ品（赤、黄パプリカ、赤かぶ）+酒田の「浅漬けの素」の試食（パプリカ）

- ・太目の パプリカはブロック状の方が食べやすいし見栄えもよい（セミドライなので爪楊枝で刺して提供するとよいかも）。
- ・入れ歯だと食べにくい（スティッキーな感じ）
- ・細目パプリカはそのままでもよいし、ビザ等のトッピングにもよさそう

（赤かぶ）

- ・噛むほどに 味わいが出てくる。生とはまた別の凝縮感がある。
- ・水で戻して酢の物にするのもよいかも
- ・男性陣は酒田の塩浅漬けの素をつけて酒のつまみにしたい話多い。

※いずれにせよ水分がかなり残っているので消費期限、保存方法、要検討。

●12月20日公益大の試食

赤かぶ、パプリカ（セミドライ品、酒田の塩浅漬けの素をお好みで）

- ・若者にも以外と好評（赤かぶが特に）
- ・ヘルシースナックとしてコンビニにあったら買いたい
- ・いずれも食べたことがないので面白い



<2024年>

- ・2月3日柿酢試飲会（アンケート総数13）

昨年11月に漬け込んだものを試飲

（主なコメント）

- ・入れるもの（キビ砂糖、黒糖、..）によって味の違いがある→好みのものを探せる
- ・なます（大根、ニンジンの千切り）、ドレッシング、炭酸割（夏バテ防止）、酢豚、ヨーグルトトッピング、すし酢として、牛乳割（固まらない？）塩分を控えるための酢の活用。お湯割り野菜チップのディップ（漉の部分）、魚のカルパッチョのソース、鶏、豚ソテーのソース、煮込みに+して、熟れた柿に柿酢をたしてアイスにトッピングデザート
- ・アプリコットジャムのかわりに使えそう
- ・ビクルス、甘酢料理にはなんでも合う、ごはんにかけてたら美味しかった（柿酢黒酢？砂糖）
- ・黒糖入りはまろやかで角のない感じ。
- ・もともと酢は苦手だったけど試したらおいしかった。

●2月29日首都圏でのドライ品（大根等）の試食（10人程度）

（ドライ化については酒田市内のラーメン店の低温乾燥機を使用）

●F A 試作品試食を通じての所感

活動開始当初はジャムやデザート的な「柿」「パプリカ」等の加工を試行錯誤したが、インタビューにもあったように「柿感」を出しにくいことがわかった。

千石町のみなさんとの茶話会（2023年9月22日開催）で「乾燥」というキーワードをいただき、市内のラーメン店の協力を得て、ドライ品（低温乾燥）の試作を行ったところ、概ね好評。ドライ品であれば、賞味期限も比較的長いので、来年度製品化するならドライ品を筆頭に考えている。

季節の順にメロン→パプリカ→なし→ラフランス→柿→赤かぶ→大根→椎茸等が候補。

他県の商品を見てもフルーツや野菜のドライ品は少なく、ラーメン店等の（低温）乾燥機の空き時間を活用することで製造コストも低減できると思われる。

English Cafe 庄内

様式第7号（第8条関係）

庄内自然エネルギー発電基金協議会助成事業報告書

1 団体名	English Cafe 庄内
2 事業名	英語で楽しく会話するカフェイベント(English Café)を通じた国際交流
3 実施期間	2023年6月2日 ～ 2024年3月8日
4 事業の目的及び事業概要（事業を通じて実現しようとしていること及び事業概要）	酒田を拠点に、毎回身近な話題をテーマに、参加者が英語で会話する「カフェ」イベントを通じた、ファシリテーター役ネイティブスピーカーとカフェ参加者相互の国際交流。参加無料。
5 実施した成果（主に住民及び地域社会に対する利益について）	・ SNSを通じたカフェイベントの紹介を行い、地域住民や関係者の関心を喚起した。 ・ 計130名の参加者が、親密でオープンな関係性での英語のおしゃべりを楽しんだ。 ・ 首都圏から4名のファシリテーターを招聘して酒田を体験してもらい、地域交流を行った。 ・ 4名の招聘でANA片道6回、JR片道2回を利用し、交通網の維持に寄与した。 ・ 4名の招聘でホテル5泊（1泊×3回、2泊×1回）を利用し、観光業の持続性に寄与した。
6 実施結果（おおよその時期、内容、場所及び対象）	・ 3月開催予定の2回を含め、1回60分×20回のセッションを開催する（オンライン16回、現地4回）。 →別紙1：開催概要 ・ SNS（Instagram）を通じて、庄内地域住民や、庄内に興味を持つSNS利用者への情報発信を行った。 →別紙2：SNSを通じた情報発信 ・ 4回実施したTOCHiTO開催では、酒田に招聘した外国籍ファシリテーターと、TOCHiTO住民を中心とした地域住民の交流を図った。 →別紙3：外国籍ファシリテーターと地域住民との交流
7 助成金収入以外の収入	なし
8 事業の次年度以降の計画	今年度で事業を終了するが、3月にオンラインであと2回開催する予定。

別紙１：開催概要

回数	日時	場所	テーマ	参加人数
第1回	8月4日（金） 18時～19時	オンライン	My Hometown	8名
第2回	8月25日（金） 18時～19時	オンライン	My Favorite Food	9名
第3回	9月1日（金） 18時～19時	オンライン	My Memories of Summer	5名
第4回	9月15日（金） 18時～19時	オンライン	My Life Lessons	12名
第5回	10月6日（金） 18時～19時	オンライン	My Happiness	6名
第6回	10月14日（土） 16時～17時	酒田市千石町 TOCHiTO	My Impression of Sakata	9名 うち現地3名
第7回	10月27日（金） 18時～19時	オンライン	My Favorite Sweets	12名
第8回	11月10日（金） 18時～19時	オンライン	My Favorite Season	10名
第9回	11月18日（土） 16時～17時	酒田市千石町 TOCHiTO	My Best Travel Experience	6名 うち現地2名
第10回	11月24日（金） 18時～19時	オンライン	My Best Travel Experience part 2	6名
第11回	12月1日（金） 18時～19時	オンライン	My Winter Hobby	4名
第12回	12月8日（金） 18時～19時	オンライン	My Childhood Memories	8名
第13回	12月15日（金） 18時～19時	オンライン	My New Year Resolution	7名
第14回	1月20日（土） 16時～17時	酒田市千石町 TOCHiTO	My New Year Memory	9名 うち現地5名
第15回	1月26日（金） 18時～19時	オンライン	My Favorite Winter Activities	6名
第16回	2月2日（金） 18時～19時	オンライン	My Next Travel Plan	4名
第17回	2月9日（金） 18時～19時	オンライン	My Last Day in Japan	5名
第18回	2月17日（土） 16時～17時	酒田市千石町 TOCHiTO	My Favorite Movie	4名 うち現地3名
合計				130名

別紙１：開催概要（つづき）

回数	日時	場所	テーマ	参加人数
第19回	3月1日（金） 18時～19時	オンライン	My Favorite Spring Festivities	—
第20回	3月8日（金） 18時～19時	オンライン	Our Achievement, Our Declaration	—

別紙2：SNSを通じた情報発信
(<https://www.instagram.com/englishcafe.shonai>)
2月28日時点のInstagramアカウント情報



2/28現在で、
114名が
フォローしている

※一部抜粋

別紙3：外国籍ファシリテーターと地域住民との交流
1月21日にTOCHiTOで開催された、TOCHiTO入居者・生産者・地域住民の新年会より



2024年度(令和6年度)庄内自然エネルギー発電基金助成事業(採択事業)

古着や古繊維類の資源化

団体名 酒田でファイバーリサイクルをすすめる会 助成額 200,000円

TOCHiTO発いくつになっても誰かの役に立ちたいを叶えるプロジェクト

団体名 ワークスコレクティブ発足準備会 助成額 200,000円

ぼくたちの歴史探訪プロジェクト

団体名 みんなの居場所 古民家玉手箱 助成額 120,000円

庄内遊YOU米おこしの新商品開発

団体名 日本海企画合同会社 助成額 200,000円

遊佐混声合唱団×江上孝則演奏会「遊佐讃歌」

団体名 遊佐混声合唱団 助成額 200,000円

以上 5 事業

2025年度(令和7年度)庄内自然エネルギー発電基金助成事業 募集内容

令和7年度に実施する事業を令和6年度に募集！！

生活クラブグループと庄内の生産者などが出資して設立された「庄内自然エネルギー発電（株）」が、庄内・遊佐太陽光発電所の売電事業益を酒田市に寄附して設立された基金を活用して、庄内地域の持続可能なまちづくりに寄与する活動への助成を行うものです。

□助成事業の対象者

- (1) 庄内地域に専ら居住するか、近い将来に居住を予定する2名以上のグループ
- (2) 庄内地域に事業ないし活動の基盤を置く団体（法人を含む。）

□交付対象事業

- (1) 再生可能エネルギーにより地域の持続可能性を高める取組み
- (2) 農畜林水産物ほか食料生産の振興を図る新たな取組み
- (3) 住民生活における福祉、保健、医療、教育の増進を図る取組み
- (4) 地域の良好な自然環境や固有種動植物の保全に関する取組み
- (5) 郷土の歴史、民間伝承や文化・芸能等の保存継承に関する取組み
- (6) 「生涯活躍のまち」構想など、地域の定住人口と交流人口の増加に関する取組み
- (7) その他、当協議会が特に必要と認めたもの

□募集スケジュールと審査

募集期間：令和6年7月1日（月）～令和6年9月30日（月）

（注）庄内自然エネルギー発電基金協議会が設置する学識経験を含むメンバーで構成される審査会を経て助成事業を内定します

- (1) 令和6年10月 助成事業選考審査会
※この事業は、令和7年3月の酒田市議会の令和7年度予算の成立を前提とします。
- (2) 令和7年 4月 助成金交付申請書提出（事業開始）
- (3) 令和8年 2月まで 事業完了期限 実績報告
- (4) 令和8年 3月まで 助成金交付（事前交付についてはご相談ください。）

□助成率及び助成金額等

- (1) 助成率：全体の助成率は100万円程度、1件の助成限度基本額20万円以内
- (2) 助成件数：5件程度
- (3) 助成率：助成対象経費の10分の10以内

□助成対象経費

助成対象経費は、助成事業に専ら要する経費です。ただし、次のいずれかに該当する経費及びこれらに類する経費は対象外です。

- (1) グループや団体（以下、「団体等」という。）の経常的な活動及び運営に要する経費
- (2) 団体等の構成員に対する人件費及び謝礼
- (3) 食糧費(ボランティア謝礼的なものを除く。)
- (4) 建設費及び備品購入費

【問合せ先】 詳しくはこちらの窓口にお問い合わせください。

酒田市総務部市長公室	担当：国松	TEL 0234（43）8321
遊佐町企画課企画係	担当：高橋	TEL 0234（72）4523
生活クラブ連合会機関運営部	担当：渡辺	TEL 03（5285）1883



庄内自然エネルギー発電基金協議会

(事務局 株式会社平田牧場内)

〒998-0853 山形県酒田市みずほ 2-17-8

Tel 0234-22-8612 Fax 0234-22-8603

✉ y.shirasaki@hiraboku.co.jp

✉ yumi.takahashi@hiraboku.co.jp